

第71回 日本生物工学会大会
天野エンザイム株式会社ランチョンセミナー (LS3-2)

『再生医療を酵素でサポートする』 —膵島移植に貢献する酵素—

日時 令和元年9月18日(水)
12時00分～12時50分

会場 岡山大学 津島キャンパス
岡山県岡山市北区津島中

座長 天野エンザイム株式会社 マーケティング本部
取締役メディカル用酵素事業部長 山口 庄太郎

演者 東京農工大学 大学院農学研究院
応用生命化学部門 教授 **山形 洋平 先生**

膵島移植は、健常者の膵臓組織よりインスリン産生細胞である膵島のみを分離し、糖尿病患者へと移植する治療法である。移植手術が不要であることから、患者への負担が軽いという大きな利点がある。膵島細胞は、膵臓組織を酵素処理することにより分離されるが、相応しい膵臓のドナーの確保が容易でないため、ダメージの少ない膵島を高収率で回収することが大きな課題となっており、そのために用いられる酵素製剤を最適化することが考えられる。東北大学後藤教授、東京農工大学山形教授と当社の研究グループでは、Collagenaseに加え、*Clostridium histolyticum* 由来の Clostripain および Clostlysin® (Neutral Protease)を組み合わせることで、膵島へのダメージを最小限に抑えつつ、膵島分離効率を向上させられることを明らかにした。



酵素—無限の可能性を求めて

天野エンザイム

www.amano-enzyme.co.jp